

歯は口より、 ものを言い!?

小池デンタル
クリニック発



同業の歯科医師からの相談
—いい治療と早い治療—

「早く治療するよりも、いい治療がしたい」…こんな相談を、同業である歯科医師からよく受けます。

どうしてこのような言葉が出てくるのか？

これにはいくつか理由がありますが、一般の方に理解しやすいように例え話をしていきましょう。

食べ物で比較した場合、安い食材を使い時間と人手を省いた料理と、食材を厳選し手間暇かけて作られた料理、どちらが美味しいでしょう？あるいは食器、100円ショップのものどと手作りの食器を扱う専門店で売られているものとの質の違い、衣類でいえば、安値のTシャツは早々に型崩れすることも少なくありません。

極論になりますが、「手間をかければいいものが、早く仕上げようとするればそれなりのもの」ができ上がるということです。

多くの職業で、『安く』するためには『早く』を優先します。『早く』することで光熱費や人件費などのコストも下がり、『丁寧』にすると時間がかかり『安く』に繋がりにくくなるわけです。



大量生産

何が違うの？



手間をかける。
良い材料。

オートクチュール



さて、歯を削る場合は、より大きいバーで削れば早く削れますが、小さいバーで虫歯以外は極力削らないようにすれば時間がかかります。器用な人でも『早く』するより『丁寧』にするほうが時間はかかりますが、そちらのほうがいいはずですよね？もちろん、器用な人が『早く』したほうが、不器用な人の『丁寧』より仕上がりがいい場合がありますが、当然、器用な人が『丁寧』にするのが一番いいですよね！

『いい治療』というものを、時間をかけた丁寧な治療だと考えるなら、『早い治療』と『いい治療』はイコールとはいえません。しかし、歯科医師も勤める医院の方針によっては『早く』なのか『丁寧』なのかを選択することはできず、冒頭のような「早く治療するよりも、いい治療がしたい」といった相談が出てきたりするわけです。例えば腕のいい料理人であっても、料理屋や専門店ではなく、ファストフード店に勤めたら、その腕を発揮することは難しいですね。では、腕のいい歯科医師はどうやって見つければいいのか？

医師や歯科医師には、病気に対して専門の治療科があり、専門医という資格があります。医師の場合、内科、外科、産婦人科、小児科などがあり、これらの科すべてに専門医は存在し、専門医になっている人が歯科に比べて多いのです。

歯科では保存科、補綴科、口腔外科が主要3科としてあげられます。それぞれ日本歯科保存学会、日本補綴歯科学会、日本口腔外科学会といった専門の学会から認定されていますが、歯科医師の場合、専門医が少なく、福山では各5人程度です。

歯科医師自身が「何々が得意です」「何々を専門にやっています」というのと違い、大きな学術機関によって認められているのが『専門医』であり、研究を行い、学会での発表や論文といった実績を重ね、試験に合格し、治療技術の証明などを行って初めて『専門医』となることができます。簡単に専門医にはなることができないため、専門医の数が少なく、大学病院でも専門医でない歯科医師はいっぱいいます。

地域の専門医を探したければ、上記の学会ホームページから探してください。

「早く治療するよりも、いい治療がしたい」と考えている歯科医師にめぐり会えるかもしれませんよ。

院長 小池秀行

歯学博士 日本補綴歯科学会専門医

※歯が欠けたり失われたりした場合に、かぶせ物、差し歯、ブリッジ、入れ歯(義歯)、インプラントなどの人工物で補い、機能・審美を回復することを専門とし、学会で認められた歯科医師です。

社団法人日本補綴歯科学会 <http://www.hotetsu.com/p1.html>